

2016年3月期 第3四半期 決算説明会

主なQ&A

Q1：来期以降、スライドタイムラグの剥落や、日立LNG基地等の設備取得による償却費の増額が見込まれる。また、電力・ガス自由化等の影響も不透明で収支を見通すことが困難な中、配当予想を増額修正した理由を教えてください。

A1：来期以降、収支面で楽観は出来ないが、当社の基本的な利益創出力や強固な財務体質を考慮すれば、年間11円の配当は継続的に可能と考えたもの。

Q2：上流投資で今後更なる減損リスクはあるのか？今回減損した以外の上流事業プロジェクトについて、減損に関する検討状況を聞きたい。

A2：昨今の原油価格やガス価格を踏まえると、リスクがないとは言い切れない。原油価格やガス価格の動向には注視が必要であり、それらを踏まえて減損の要否を検討する。

Q3：電力小売り事業参入について、1月から予約販売を開始したが手ごたえをどのように感じているか？競合他社の料金プランに対抗するために追加で費用投入する予定はあるか？また小売り事業への参入による来期収支への貢献度合いはどの程度か？

A3：お問い合わせは多く頂いており手ごたえを感じているが、具体的な予約件数等は競争戦略上開示を控えさせて頂く。今後の戦略については、必要に応じて検討する。当面は顧客獲得に注力し、徐々に利益を拡大していきたい。

Q4：豊洲エリアの不動産開発状況を教えてください。

A4：ポテンシャルのある土地なので外部とも組みながら開発を進めたい。一方で現状の市況を見ると、現在建設コストが上昇している。どうすれば利益を最大化できるか、様々な選択肢を念頭に、検討を進めていきたい。

以上